

博物館健康ステーションを創る

連続講座「2025年問題に向けた高齢者の健康と博物館の役割」

我が国は、団塊世代が75才以上となる2025年を目途に、要介護状態になっても住み慣れた地域で自分らしい暮らしを人生の最後まで続けられるよう、住まい・医療・介護・予防・生活支援が一体的に提供される地域包括ケアシステムの構築が急がれる。

ところで2015年11月、ユネスコ(国連教育科学文化機関)総会で採択された「博物館とコレクションの保存活用、その多様性と社会における役割に関する勧告」の中で、博物館は「社会全体に語りかけるゆえに社会的な繋がりと団結を築き、市民意識の形成また集団的アイデンティティを考える上で、重要な役割を持つ重要な公共空間である。ミュージアムは、恵まれない立場のグループを含め、すべてに開かれた、あらゆる人々の身体的・文化的アクセスを保証する場であるべきである」と位置づけている。

そこで、今回の連続講座は、地域社会の一員である博物館が高齢者のQOL向上に向けた「博物館健康ステーション」を創出していくため、園芸療法・アニマル・セラピー・回想法・音楽療法を実践研究する大学教員・博物館学芸員を講師に4回連続で開催し、学際的な視点から地域博物館、医療・福祉機関が協働した新たな「博物館セラピープログラム」開発を考える機会としたい。

* 2025年問題：約800万人いると言われる団塊の世代が75才以上の後期高齢者となり、超高齢化社会に突入する問題

2020年9月～10月 連続講座開催!

定員20名

受講料 >>> 無料

連続講座日程 (各回の講座は、講義とグループワークで構成します)

| 回数 | 開催日 | 開催時間 | 開催場所 | タイトル | 講師 |
|----|-----------|-------------|----------------------|----------------|-----------------------|
| 1 | 9月21日(月) | 10:00～17:00 | 飯塚市歴史資料館 旧伊藤伝右衛門邸 | 庭園de園芸療法 | 岩崎 寛(千葉大学) |
| 2 | 9月26日(土) | | 大牟田市動物園 | 動物園deアニマル・セラピー | 山本 真理子(帝京科学大学) |
| 3 | 10月3日(土) | | 飯塚市歴史資料館 | 歴史資料館de回想法 | 市橋 芳則 (北名古屋市民俗資料館) |
| 4 | 10月10日(土) | | 九州産業大学美術館 | 美術館de音楽療法 | 井上 幸一(福岡女子短期大学) |

講座の特徴
・ポイント

- ① 学際的な講義から、新たな博物館活動のヒントが学べます。
- ② 体験活動やグループワークを通じて、実務に役立つ協働の楽しさ、難しさが学べます。
- ③ 多彩な分野の参加者交流から、新たなマッチングの機会が出来ます。
- ④ 今後予定する「ミュージアムカフェ＝博物館健康ステーション」事業への企画提案の機会があります。

参加対象

博物館/保健医療福祉関係者、大学教員、学芸員有資格者で「高齢者の健康と博物館」に関心がある方、博物館学を学ぶ学生等

博物館健康ステーションを創る

連続講座「2025年問題に向けた高齢者の健康と博物館の役割」

2020年9月～10月 連続講座開催!

第1回 9月21日(月)

会場: 飯塚市歴史資料館 旧伊藤伝右衛門邸
時間: 10:00～17:00 (受付)9:30～

庭園 de 園芸療法

園芸療法とは、植物の栽培といった一般的な園芸活動だけでなく、植物を用いたクラフトや庭園の散歩など、身近な植物を五感で感じることで、ストレス緩和や、落ち込み・不安などの感情を改善するものです。本講座では、園芸療法の事例を紹介しながら、その効果や身近な実践方法についてお話します。



岩崎 寛 (YUTAKA Iwasaki)
専門分野: 環境健康学
千葉大学大学院園芸学研究科准教授

第3回 10月3日(土)

会場: 飯塚市歴史資料館
時間: 10:00～17:00 (受付)9:30～

歴史資料館 de 回想法

回想法は、地域に暮らす高齢者を元気にしていくプロジェクトとして活用されています。博物館と高齢者ケア・認知症予防・健康推進などを推進する福祉関係の部局とが連携を図った「思い出ふれあい(回想法)事業」を2002年から実践しています。私たちは、「博福連携」と名付け、活動の軸の一つとしています。



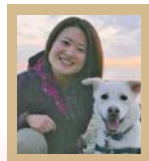
市橋 芳則 (YOSHINORI Ichihashi)
専門分野: 博物館学
北名古屋市歴史民俗資料館長

第2回 9月26日(土)

会場: 大牟田市動物園
時間: 10:00～17:00 (受付)9:30～

動物園 de アニマル・セラピー

動物は医療、福祉、教育など様々な場面で人々の生活を豊かにしてくれています。一般にアニマル・セラピーとよばれており、今もなお発展し続けている分野です。アニマル・セラピーとは何か、動物からもたらされる効果のメカニズムに触れながら、動物園での応用について一緒に考えていきたいと思います。



山本 真理子 (MARIKO Yamamoto)
専門分野: 介在動物学
帝京科学大学生命環境学部アニマルサイエンス学科講師

第4回 10月10日(土)

会場: 九州産業大学美術館
時間: 10:00～17:00 (受付)9:30～

美術館 de 音楽療法

音楽療法は、介護予防や健康増進を含む心身機能の維持・改善、行動の変容などを目的として、高齢者をはじめ幅広い対象に実践されています。美術作品の鑑賞と作品のイメージを表現する体験を通して、ストレスの変化や、美術館における新たな実践方法について考えます。



井上 幸一 (KOICHI Inoue)
専門分野: 音楽学 / 音楽療法
福岡女子短期大学音楽科准教授

申込方法

受講希望の方は、①件名:連続講座 ②内容:氏名、所属、職名、この連続講座に期待することを書いて、E-mail:museum03@ip.kyusan-u.ac.jpへ、お申込みください。
なお、申込みは8月24日(月)から開始し、先着順とします。単発参加希望の場合はお問い合わせください。

参加対象

博物館/保健医療福祉関係者、大学教員、学芸員有資格者で「高齢者の健康と博物館」に関心がある方、博物館学を学ぶ学生等

問合せ先

中込 潤 (実行委員会事務局長、九州産業大学美術館学芸室長)
E-mail:museum03@ip.kyusan-u.ac.jp

定員 20名

受講料 >>> 無料

事業責任者

緒方 泉 (九州産業大学地域共創学部教授)



九州産業大学美術館
Museum of
Kyushu Sangyo University

〒813-8503 福岡県福岡市東区松香台2-3-1
tel 092-673-5160 / fax 092-673-5757
ksumuseum@ip.kyusan-u.ac.jp
http://www.kyusan-u.ac.jp/ksumuseum/



□主催:「博物館と医療・福祉のよりよい関係づくり」構築に向けたマネジメント人材育成事業実行委員会

(代表<九州産業大学美術館>、九州大学総合研究博物館、海の中道海洋生態科学館、福岡市博物館、福岡市美術館、田川市石炭・歴史博物館、直方谷尾美術館)